



▲人類の進化とエネルギー、地球の関係について話す藤当さん

日本の市役所の 担う役割を学ぶ

友好都市デンマークのファボー・ミッドフュン市から研修生を受け入れ

2/10~

市は、友好都市であるファボー・ミッドフュン市から、 mette・ハンセンさんを研修生として、3月10日(土)まで受け入れていきます。 metteさんは、ファボー・ミッドフュン市役所に研修生として勤める24歳で、同市の研修制度を活用し登別市を訪れています。 期間中は、市の概要や財政、人事、保健衛生、観光、議会など、市役所の仕事について職員から学ぶほか、子育て施設や学校、介護施設などを訪問。市民からは習字や華道、着付けなど日本の文化を学びます。



▲職員から市勢の概要について話を聞く metteさん (右)

自然エネルギーの 可能性を学ぶ

環境講演会

2/16

2月16日(木)、クリンクルセンターで環境講演会(市主催)が開催されました。

この講演会は、市民に環境への関心を高め、もらうことを目的に、毎年開催しています。 今年も、北海道地球温暖化防止活動推進員の藤当満さんを講師に迎え、『世界の自然エネルギー』をテーマに、人類の進化とエネルギーの関係、太陽光や風力、地熱発電などの自然エネルギーの動向などについて話したほか、2050年を目標に進められている、世界最先端の自然エネルギー計画を紹介するなど、約100人の参加者を楽しませていました。

地元産の牛肉を 給食で味わう

第2回のぼりべつし学校給食展

1/24
~27

1月24日(火)~27日(金)、市民会館で『第2回のぼりべつし学校給食展』(市主催)が開催され、食育教材の展示や手洗い講習会、学校給食の試食などが行われました。

この催しは、全国学校給食週間(1月24日(火)~30日(月))に合わせて、子どもたちが食に関する正しい知識と習慣を身に付けるため、重要な役割を果たしている学校給食への関心を市民にも深めてもらおうと、昨年から開催しています。

人気の学校給食の試食は、地産地消をテーマに地元産の牛肉『登別牛』を使った牛丼(25日(水))とキーマカレー(26日(木))が献立に登場。参加者は、栄養教諭や登別牛の生産者の講話を聞いた後、給食をじっくりと味わいながら、学校給食への理解を深めていました。



▲牛丼を味わう参加者(上)と登別牛生産者の講話